

児童氏名	福井けい	性別:男	生年月日:平成25年4月3日		
診断名	自閉スペクトラム症				
医療情報	M総合病院・児童精神科医 担当 C医師 同病院小児科:1/6M受診 言語聴覚療法1回/M 作業療法1回/M				
生育暦	胎生期:異常なし41週 定頭:4ヶ月 寝返り:7ヶ月 初語:1歳5ヶ月頃 初歩:1歳4ヶ月				
家族構成	母、兄、本児の3人家族				
家族状況	<p>母親について:34歳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭の為、就労(10:00~15:00)して養育をしている。 ・本児や兄と思うように時間が作れず、毎日あわただしく過ぎていく事に焦りがある。 ・保育園でのあそびを質問をすると、「〇〇シタ」と答えることは出来るが、「どうやって?」等には、答えることができない何がしたいかを聞いても要領を得ず、最後は怒り出す為分かってあげられないことがある。ことばが不明瞭な事も気になっている。 ・箸が上手く使えず、不器用で生活動作も取り組むことができず、どの様に教えたらよいか分からない。 <p>兄について:小学校3年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく遊んでくれるが、近所の子と遊びたいときは、本児がルールが分からず邪魔をする為、最近では、こっそりと一人で出ていく事もある。 <p>祖父母について</p> <p>近所に住んでおり、兄や本児が降園・下校後面倒を見てくれる。本児については、十分な会話ができない事や、言い出したら聞かない等心配している</p> <p>父親について</p> <p>2ヶ月に1回程度会うことになっている</p>				
	利用状況	毎週水曜日に、児童発達支援を利用。個別療育と年長児6人と支援員2人の小グループ療育(月2回)を受ける。個別療育(月2回)では、絵本や絵カードを使っのこことばを育てる課題、描画や折り紙、はさみなどを使った簡単な製作を通して手先の微細運動と平均台やフープくぐり、ゆっくり物を運ぶなど、遊具にあわせた身体の使い方や動きのコントロールをする粗大運動遊びを行っている。グループ療育では、インタビューやスリーヒントクイズ、転がしドッチやジャンケンゲーム、すごろくゲームなどの集団遊び、お店やさんごっこなどのやり取り遊びを行っている。			
	他機関の利用や、連携について	日中は、市内こすもす保育園に在籍し、主の担任以外に加配の保育士に援助してもらう。集団生活では、製作場面で「できない」と言って泣いてしまうこともあったり、順番を待てずに怒ってしまうこともある為、個別にことばをかけてもらっている。生活習慣などは、ほぼ自立しているが、ことばが足りず、他児とトラブルになることがある。 M病院での言語聴覚療法・作業療法を受けている。			
	家庭環境	アパート暮らしである。大通りより少し離れた静かな住宅街で、近くに小さな公園がある。 近くに同じくらいの年齢の子がいるが交流はない。 部屋の中は子どものおもちゃなどがたくさん置いてあるが、きれいに整頓されている。 母は午前10時から午後3時までのパートで、近くの会計事務所で働いている。祖父母には、アパートに来てもらうこともある。			

<p>事例について</p>	<p>1歳6ヶ月健診時に、単語が5語ほどあったが、1歳9ヶ月頃にことばが「ブーブー」のみになるなど、出ていたことばが消えてしまった。その後、2歳になってもことばが増えてこない為、母が心配して保健センターに相談する。親子教室(週1回2時間程度)に通う。8回程度利用。3歳児健診では、表出言語は、単語のみで呼んでも振り向かない為、聴力検査を受けるが問題はなく、児童発達支援事業所ふわわの通所開始となる。また未満よりこすもす保育園に入園し年少から加配の先生についてもらい、園生活を送っている。</p>
<p>支援体制について</p>	<p>現在、事業所では、毎週水曜日午後2時30分より、1時間の療育を月4回実施し、その後30分懇談を行う。年長児6名(男児4名、女児2名)でグループを構成し、支援員2名で行っている。月に2回のグループ療育、2回の個別療育を行っている。(療育手帳取得児2名、ことばの発達の遅れ4名である。)</p>

<p>事例における 当事業所を利用 するまでの状況</p>	<p>H26.11(1歳7ヶ月):1歳6か月健診時、単語は5語程度あった。特に心配なことはなかった。 H27.4(2歳0ヶ月):ことばが増えてこないことを心配して保健師に電話相談をする。親子教室を勧められ、(週1回2時間程度)利用8回利用した。 H27.5(2歳1ヶ月):市の発達相談を受け、児童発達支援事業所の利用を勧められる。母は、発達の遅れを心配し利用することを希望する。 H28.4(3歳0ヶ月):地域のこすもす保育園に入園する。</p>
---------------------------------------	---

<p>母親からの要望等</p>	<p>最近では、ことばが増えてきて、「○クン クルマ アソнда」「ホイクエン エンソク イッタ」等出来事について聞かれると話することができるが、時系列で話すことが難しく、質問や言われている事が分からないと話題を変えてしまったり、場を離れていってしまう。</p> <p>買い物に行くと、自分の好きなおもちゃ売り場やお菓子売り場に走っていく。「ダメ!」と止めるが聞かない。絵本を読んで聞かせるが、興味がない物だと次々にページをめくっていき、読むのを待ってられない。「お風呂に入ろう」「着替えよう」等生活動作は「デキナイ」「イヤダー」が口癖のように聞かれ、できるがやろうとしない。偏食があり野菜を全然食べない。園では、少しずつ頑張っていることができるようになってきている。</p> <p>園から帰ってきて、トミカの子や電車の玩具で兄と遊ぶが、集中力が短く、次々にあそびが変わる。身体の使い方がぎこちなく、箸や鉛筆など三点持ちができない。はさみが上手く使えず、曲線も直線で切ってしまう。箸やはさみなど身近な道具を上手に使えるようになってほしい。</p> <p>文字や数字は好きで、ひらがなは読め、書く事ができるが、鏡文字になるものがある。集中力が短く、勝手行動もあり、学校に行ったらどうなるかと心配。また、どこに相談に行ったら良いかを教えてほしい。</p>
-----------------	---

項目	状態	項目	状態
日常生活の技能	食事は握り箸で食べ、よくこぼす。偏食があるが保育園では、何でも食べている。更衣は自分で着脱可能だが、前後などは自分で判断できない。ボタンやファスナーは時間がかかるができる。排泄は自分でできている。排便の後始末は、確認が必要。		
健康体調	時々熱を出して、保育園を休むことがある。少しの咳や鼻水で「ホイクエンニキタクナイ」と言い、母も大事をとって休ませる。	感覚	トンネル遊びなどで、よく頭をぶつける。音にやや敏感さがあり、耳をふさぐことがある。大人にベタベタとくっつくのが好きである。手の汚れや服の汚れを気にする。製作でのりを使う時は、濡れたタオルを置いておく事で、安心しできる
運動機能	ケンケンができない。目と手等の協応動作が苦手。友達とペースを合せて歩くことが苦手。体操座りを維持する事が難しい。高さのある所からジャンプをすると足で踏ん張れず着地の姿勢が崩れてしまう。平均台などは、うまく歩けず嫌がる	道具の操作	握り箸。はさみを使って切り落とす操作はできるが、線上を切ることが難しい。折り紙などは、端を合わせようとするがずれてしまう。クレヨンは上手に持ち、簡単な顔を描くが、円が楕円になったり始点と終点が合わない
認知	形のマッチングができ、円や四角の模写ができるが、三角模写はできない。二つの三角形を組み合わせて四角を作るなどの、形の構成は見本を見るとできる。8ピース程度のジグソーパズルはできる。 10程度の物を1対1対応で指さしをして数えることができる。 「〇〇貸してください」などの短文の模唱は、「〇〇、ください」と言うなど、聴覚的な短期記憶が苦手である。	移動	外出時に、母と手をつながず、一人で、走って移動したり、気になる物の方に衝動的に行ってしまうことがある。名前を呼ぶと戻ることができるが、よく迷子になる。
理解の仕方	日常生活で、2つの指示は分かり行動できる。身近な物の名称はわかるが、『りんご』と『トマト』の区別がつかない。クラスの子どもの名前がわかり、お便り帳などは、配ることができる。その他の平仮名も読むことができる。『フルーツバスケット』などの集団遊びのルールは分かり、参加できるが、ドッチボールでは、ルールが分からず、当たっても中において、他児に注意をされる。	表現の仕方	短文で自分の思いや日常での出来事を思い出して話すが、「ケーキタベタ」「ママフーシタ」など助詞がまだ上手に使えない。『靴下』を「ツクシタ」と言ったり、『キティちゃん』が「ティティちゃん」と言うなど音位転換や発音の不明瞭さもあり、伝えたいことが適切に伝わらないことが多い。「どこで買ったの?」「誰と?」などの質問に「あっち」と答える。
対人関係	他児を、遊びに誘い、「いやっ!」と言われると怒って部屋の隅に座り込んでしまう。玩具の片付けの時に、偶然友達ちとぶつかると、直ぐに相手を叩いたり蹴ったりしてトラブルになる。距離感が保てず、近すぎたり、やたら触る等をするため嫌がられることがある。大人と話すことが好きで、他児のお母さんにも、自分の興味があることを一方的に話しかける。	集団参加	友達と一緒に活動することを好む。活動の説明を聞いて、「ヤラナイ」と言うことがあるが、個別に「先生と一緒にやろうね」と誘うと参加したり、褒められると嬉しくて頑張ることがある。 順番を待つことが苦手で、割り込んでいくため。「待っていて」と言われると、「モウ!」と言ってその場を離れてしまう。わからない事、苦手な事はやろうとしない。
興味関心	恐竜や車などが好きである。絵本は、それらの載っている図鑑のようなものをよく見ている。簡単なストーリー性のある内容の読み聞かせは聞くことができる。最近、恐竜の話をよくしておりディノアドベンチャーランドに行ってみてきた恐竜の話をしてくれる	好きなタイプ 嫌いなタイプ	話を聞いたり、褒めてくれたりするとすぐに手をつないで「一緒に遊ぼう」と自分の遊びに誘う。一緒に遊んだ男性支援員を覚えていて、直ぐに抱きつきに行く。

使用検査: WISCⅢ

記入日: 平成31年4月

知能指数: 全検査 79 言語性 74 動作性 89

検査日: 5月11日

行動観察記録: 検査導入場面はスムーズに入室して行き、すぐに会話ができる。「ナニスルノ?」と不安も示すが、検査道具に関心を持つと、直ぐに触ったり、検査者の持っている物を覗き込もうとする。検査経過では、最初は指示をよく聞いていたが、次第に集中力が下がってくる。指示が理解出来ないと検査者の顔を見てその反応をうかがう。短文を聞いての復唱や順序の記憶など、短期記憶が苦手であった。発音の間違いが多く、不明瞭さがある。積み木模様では、見本を見て取り組み始めるが、手先の不器用さから時間がかかった。数唱では、数字が4つになると誤答となる。また、逆唱はできない。視覚優位であるが、見比べや動作が加わると時間がかかる。ことばを聞いて理解する事や意味理解する事が苦手である。文の理解が苦手なために、指示に従うことができない。

その他: 補足

保育園は、担任の他に加配の先生がついて支援をしている。加配は、年少から継続してついているが、年長になり、他に支援が必要なお子さん2名と本児の3人に対して1人の加配となる。園での生活は楽しいようだが、時々友だちとの関わり方が上手くできず、泣いたりトラブルになることがある。そのことを家に帰って、「〇〇ケンガタタイタ」と訴えることがあるが、詳しいことが分からず母は心配をしている。しかし先生は園での様子を丁寧に説明をしてくれるため、心配をしながらも毎日送り出している。

就学先についての相談は、市の相談会などに参加したり、個別に学校を見学したりして相談していく予定である。母は、家庭での過ごし方について、仕事や家事等あるために十分に子どもに付き合えない事に不安である。本児から誘われると兄が怪獣ごっこに付きあってくれるが、兄に我慢させている事も心配している